

## 国立大学法人島根大学役員会（第361回）＜議事要録＞

日 時 令和3年2月2日（火） 14:00 ～ 15:45  
場 所 本部棟3階 特別会議室（TEAMS 利用）  
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，長澤理事，上野理事  
オブザー 千家監事，栗原監事  
欠席者 宮脇理事  
〔陪席：企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長，  
自然科学系事務部長，企画広報課長，研究協力課長，教育企画課長，総  
務課長，財務課長，監査室長〕

### 議題1 職務権限規程の制定について

- 学長から職務権限規程の制定について説明があり，原案どおり議決された。

### 議題2 執行体制に係る規則の制定等について

- 学長から執行体制に係る規則の制定等について説明があった。
- 栗原監事から副学長の定員について確認があった。学長から副学長の定員についての定めはなく，適材適所に配置しているとの回答があり，原案どおり議決された。

### 議題3 法定会議に係る規則の一部改正について

- 学長から法定会議に係る規則の一部改正について説明があり，原案どおり議決された。

### 議題4 島根大学における職員の人事管理方針及び島根大学における経営人材育成方針の策定について

- 藤田理事から島根大学における職員の人事管理方針及び島根大学における経営人材育成方針の策定について説明があった。
- 千家監事から両方針のフォローアップのスケジュールを示すよう要望があった。学長から今後作成するとの回答があり，原案どおり議決された。

### 議題5 特定職務職員の新設に伴う関係規則の制定等について

- 藤田理事から特定職務職員の新設に伴う関係規則の制定等について説明があった。
- 栗原監事からミッションを明確にすると求めるスキルも明確になり，成果の判断や評価もしやすいため，想定される職務に具体的な課題があるのか確認があった。また，制度が機能するためには，特定職務職員が活動しやすい環境の整備が必要であるが，現状はどのような段階なのか確認があった。藤田理事から各職務でそれぞれ課題があり，必要性があるためこの制度を新設するとの回答があった。評価は，基本的にはジョブ・ディスクリプションに基づいて評価をする予定であり，また環境整備は今後検討する予定であるとの回答があった。
- 以上の議論の後，原案どおり議決された。

### 議題6 国立大学法人島根大学財務計画について

- 長澤理事から国立大学法人島根大学財務計画について説明があった。
- 栗原監事から「診療行為の充実に必要な経費を確保する一方で，働き方改革を伴う常

勤職員の抑制」の具体について確認があった。長澤理事から診療行為に必要な医療職員は確保するが、事務職員は人員を抑制していく方針であるとの回答があり、原案どおり議決された。

#### 議題7 病原体等安全管理規則及び病原体等安全管理委員会規程の制定について

- 秋重理事から病原体等安全管理規則及び病原体等安全管理委員会規程の制定について説明があり、原案どおり議決された。

#### 議題8 共同研究取扱規程の一部改正について

- 学長から本件については、利益相反に係るリスク回避のため、上野理事は審議に参加しないことの説明があった。
- 秋重理事から共同研究取扱規程の一部改正について説明があった。
- 千家監事から間接経費の配分基準や教職員への周知方法について確認があった。秋重理事から教職員への周知のため、全学説明会を計画するとの回答があった。また、長澤理事から配分基準は、来年度から実施できるよう役員会に付議する予定であるとの回答があった。
- 千家監事から相手方には間接経費の用途を説明すべきであり、また間接経費の予算を組む必要があるのではないかと意見があった。長澤理事から間接経費の用途は限定しないという考え方が主流であり、間接経費の予算は組む必要がないと考えているとの回答があった。
- 千家監事から間接経費の比率が高くなると、共同研究を中止する企業があるのではないかと意見があった。長澤理事から大学との共同研究は、企業が自前で研究するよりコストが安く、間接経費も正味の費用負担のみであり、企業側の理解も得られると考えているが、企業には丁寧に説明していく必要があるとの回答があった。
- 千家監事から企業とまず交渉するのは教員であり、他大学では教員が研究費を間接経費分減らして交渉している事例があるため、注意する必要があるとの意見があった。
- 千家監事から共同研究の費用に人件費を含めている大学や、戦略的産学連携経費として将来への投資に関する経費も含めている大学もあり、規則整備を先行して行うなど仕組みを整えていく必要があるのではないかと意見があった。
- 以上の議論の後、原案どおり議決された。

#### 協議事項1 定期モニタリングの実施について（個人情報漏洩の防止体制）

- 藤田理事から「個人情報漏洩の防止体制」についての内部統制報告書の説明があった。
- 学長からシステムに起因する事案とヒューマンエラーによる事案を分けて取組を考えるべきではないかと意見があった。藤田理事からうっかりミスを防止するチェック体制を構築し、ヒューマンエラーの防止策を講じる必要があるとの回答があった。
- 千家監事からPCについては、在宅勤務を想定し、PCの更新時期を考慮してシンクライアントの導入も検討する必要があるのではないかと意見があった。藤田理事から検討していきたいとの回答があった。
- 千家監事から国では、行政機関、独立行政法人、民間事業者を別々に対象としていた3つの個人情報保護法が一本化することが検討されており、早めに対策をすべきではないかと意見があった。

#### 報告事項1 令和3年度予算（案）の概要について

- 長澤理事から令和3年度予算（案）の概要について報告があった。

**報告事項2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う施設費貸付事業及び承継債務償還に係る債権の内容変更について**

- 長澤理事から新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う施設費貸付事業及び承継債務償還に係る債権の内容変更について報告があった。

**報告事項3 附属病院運営状況について**

- 井川理事から附属病院運営状況について報告があった。
- 千家監事から平均在院日数が低下している要因について確認があり、井川理事から年末要因によるものであるとの回答があった。

**報告事項4 第188回教育研究評議会の議題等について**

- 学長から第188回教育研究評議会の議題等について報告があった。